東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

2021年度

キャリアアップMOT（CUMOT）
経営経験者との対話で学ぶ技術経営セミナー
～CUMOT×STAMP 連携プログラム～
受講生募集のご案内

説明会はインターネット配信を予定しています。視聴方法は裏面「説明会開催」の案内にて。

STAMP 技術経営士の会
Society of Technology and Management Professionals

オンライン講義形式で全国より受講可能
環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

プログラムの目的
本プログラムは、技術経営を実践する次世代の企業経営を担う人材を対象に、技術経営士の会（STAMP）のメンバーが持つ「企業経営」「新規事業開発」「研究開発/技術開発」などの豊富な実務経験をもとに、「実践例と討議課題の提示」「グループ討議/発表と解説」を通じた事例研究に取り組みます。

プログラムの学習目標
戦略的技術経営の実践における課題認識と解決に必要な考え方の修得

プログラムの特徴
①経営や事業のマネジメントに関する豊富な経験を持つメンバーが所属する「技術経営士の会」との連携
②技術経営士のメンバーによる「生きたケース（事例）」を通じた学習
③経営に関する「討議課題の提示」により受講者自身が主体的に考え、講師を含めてクラス全体で議論
④Zoomによる人数限定のオンラインで「対話で学べる」学習環境

プログラム担当教員メッセージ

本プログラムは、技術経営士の会の皆様の協力により、企業経営、グローバル事業、研究開発といった多様なマネジメント経験を持つ有力な実務家を講師に迎え、講師が実際に取り組んだ事例に基づく学習機会を提供します。当事者による「生きた」事例を通じた研究は、説得力と迫力が違います。表層的ではない深いディスカッションと貴重な学びが得られるでしょう。

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授　辻本将晴

STAMP会長メッセージ

技術経営士は、技術の専門知識を持ちながら、組織のマネジメントを経験した、上場会社の役員や官僚、大学の方々です。企業経営と言うのは知識だけではできません。知識以外に人格・見識を含めた人間力が必要です。実際に組織運営を実践した人の生の話が大事です。我々は東京工業大学の場をお借りして、我々の経験に基づく知見を皆さんと共有できることを嬉しく思っています。

技術経営士の会　会長　矢野薫

技術経営士の会とは

技術経営士は、“高齢技術者の技術経営に関する知見を社会に活かす”ために、一般社団法人技術同友会が創設した資格です。そして、技術経営士の会は、技術経営士個人での活動には限界があるので、有志が集まり組織を創り、より積極的に技術経営士の活動を支援するために結成された組織です（任意団体）。

技術経営士の会　webサイト　http://stamp-net.org/

募集要項

受講期間
2021年11月11日～2022年2月17日（ガイダンス、修了式含む）
全10回　木曜開催　19時～21時20分（1回2時間、休憩20分）
※講義およびグループ学習（ディスカッション）をします。
※11/11は受講ガイダンスを行います。
※学習テーマによっては一部、変更になる場合があります。

受講対象者
次世代の企業経営や組織マネジメントを担う社会人の方

具体的には、下記のような方を歓迎します
・企業経営の経験者から直接、話を聞いたり、議論をしたい
・組織のメンバーとして経営者の考え方や意思決定の方法、リーダーシップなどについて学びたい
・同じ志や意欲を持つ仲間との交流やディスカッションを楽しみたい
・一方的に話を聞いたり教わるのではなく、双方向で主体性を持って学びたい
・CUMOTで他のコースの受講経験があり、新たに学ぶ機会を得たい
・MOT、MBA、社内研修等、経営学の分野での学習経験のあり、新たに学ぶ機会を得たい
・事業運営、新規事業、海外事業展開、研究開発など、企業経営やマネジメントに関する知見やヒントを得たい
※幹部候補生などの育成の機会として活用を検討されている企業派遣も歓迎です

受講場所
Zoomを用いた遠隔受講を予定しています。
※オンライン講義の受講に必要な通信環境は受講者にてご用意ください

募集人数
20名（最大25名）　※最小開催人数11名

申込期間
2021年9月1日（水）～10月15日（金）（締切日必着）
※定員に達した場合、募集を終了します。
※企業派遣など上記期間での対応が難しい場合はご相談ください。

受講料
99,000円（消費税込）　※お支払い方法については受講許可後に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込方法
願書に必要事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください（締切日必着）。
※新型コロナウイルスの感染対策として、PDFファイル（署名または押印入り）等、電子ファイルでのご提出も受け付けます（cumot-info[at]mot.titech.ac.jp宛て）。
〒108-0023　東京都港区芝浦3-3-6　CIC910
CUMOT事務局　STAMP連携プログラム受講申込担当

受講審査・受講通知
願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします（申込順審査）。受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします（後日、受講許可証を通知）。

お問い合わせ
東京工業大学　CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail ： cumot-info@mot.titech.ac.jp
※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

受講実績

【受講アンケート】 2020年度実績　5段階評価（Zoomよるオンライン開催）
授業の総合的な満足度はどのくらいですか　平均4.4　　授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えますか　平均4.7

【受講者の声】
◆自身が置かれている立場ごとの視座を意識し、物事を客観的に見る目を養うことの大切さを学ぶことができました。
◆経営層のものの考え方、考えるときの目を付ける箇所が、中間管理層とはかなり違っていて、そこが最も学べたところです。
◆経験豊富な講師陣、他業種参加メンバの方々との会話で、様々な意見に触れることが出来、好奇心を持つ重要性を改めて認識出来ました。
◆経営者の視点、資質を感じ取れた。また、様々な業界の中での事例を通じて、意思決定をする際の判断基準、目線を勉強することができた。
◆全10回、各2時間（以上）、Zoom開催ながらも非常に密度の濃い学び・気付きの場となりました。
◆Zoomによる講義は参加ロケーションを問わず柔軟に対応することができ、大変参加しやすかったです。

CUMOT×STAMP 連携プログラム

スケジュールと講師

回数	日程	学習テーマ	担当	経歴等
–	11/11	受講ガイダンス	古俣 升雄	東京工業大学 環境・社会理工学院 CUMOT特任准教授
1	11/18	技術の創出と経営の判断 ～通信技術と携帯電話の新たな市場の創出～	潮田 邦夫	元 株式会社NTTドコモ 常務取締役法人営業本部長
2	11/25	新興国の事業展開のポイント ～川喜田二郎氏直伝の問題解決ツール「KJ法」の活用～	岡部 聡	元 トヨタ自動車株式会社専務取締役
3	12/2	失敗と再起での経営 ～宇宙開発の転換点にあった決断～	山浦 雄一	元 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 理事
4	12/9	新しい時代の研究開発とそれを活かす技術経営 ～オープンイノベーションを実のあるものにするには～	上田 新次郎	元 株式会社日立プラントテクノロジー 代表取締役副社長
5	1/13	経営者視点の実践的開発プロジェクトマネジメント ～多様なステークホルダーが関わるシステム開発のプロジェクト運営～	井上 保	元 富士通テレコムネットワークス株式会社 代表取締役社長
6	1/20	新規事業の開発・導入から発展へ ～Suicaの開発と導入 ICカードの国際調達紛争 電子決済プラットホーム～	井上 健	元 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役鉄道事業本部副本部長
7	1/27	組織の成長に欠かせないベンチャー精神 ～大企業における組織の再活性化～	海野 忍	元 NTTコムウェア株式会社 代表取締役社長
8	2/3	経営の現場と危機管理 ～戦略・ビジョンの役割と経営現場の危機管理～	中村 房芳	元 株式会社IHI 代表取締役副社長
9	2/10	テクノロジーの進化がもたらす産業構造・社会生活の変化と新たな事業機会 ～新たな競争軸(CASE)の出現～	三木 一克	元 株式会社日立メディコ 代表執行役 執行役社長
10	2/17	大型・複合・国際化するプロジェクトにおいて プロジェクトリーダーに要求される資質 ～海外プロジェクトにおけるプロジェクトの問題点、課題～	野呂 一幸	元 大成建設株式会社 常務役員 設計本部長

※木曜19～21時20分（休憩20分含む） Zoomによるオンラインで開催予定。

学習形態とコーディネーターご挨拶

学習形態/時間の目安	前半（60分）	中盤（20分+休憩20分）	まとめ（10～20分）
講義・事例提供 ディスカッション	講師より実践例の紹介と討議課題が提示されます。	討議課題にもとづき、グループ討議（ブレイクアウトルーム）をします。	討議結果の発表およびQ＆A、意見交換などを行います。
（事前・事後）	学習者は、自らの知識レベルや週末等の自由時間に合わせて推奨書籍の読書、事前課題（資料）の読書、グループ学習支援システムを通じた意見交換等によって学習します。また、提示された事後課題を検討します。		

※講義・事例と討議テーマの提示（30分）→グループ討議と発表（30分）→討議テーマの提示（15分）→グループ討議と発表（30分）→まとめ（15分）、など講師により異なります

コーディネーターご挨拶

今回、 新型コロナウイルス感染対策として Zoom を用いたオンライン配信による学習形態をご用意しました。本プログラムは、「経営経験者との対話で学ぶ技術経営セミナー」として、講師からの話を一方的に聞くのではなく、対話を重視した学習形態です。具体的には、 日本を代表する企業や組織で活躍された経営経験者から実践例に基づく「事例提供」と「問題提起」をしていただき、受講生の皆さんと討議をします。受講生の皆さんが主体となり「経営者やリーダに求められる資質」「経営者視点の考え方」などを学び、 時には受講生からの問題提起や新たな論点の提示、受講者が所属する組織やプロジェクトの課題解決に向けた議論など、実務やキャリア形成に役立つ学びの成果を生み出すこともあります。昨年度に続くオンライン配信による実施は実績とともに参加のしやすさなど好評を得ています。全国からの参加も可能になり、地域性を超えたこれまで以上の多様性のある受講生同士の議論につながることも期待してます。

プログラムコーディネーター / ファシリテーター 東京工業大学 特任准教授 古俣 升雄

説明会開催（収録動画のインターネット配信）

新型コロナウイルスの感染防止対策として、CUMOT×STAMP連携プログラム（2021年度）の説明会をwebで配信いたします。申込方法：Webサイト（https://www.academy.titech.ac.jp/cumot/）の問い合わせフォームにアクセスし「CUMOT×STAMP連携プログラムについて」を選択し、必要事項を入力のうえ、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。視聴に必要なIDと資料（PDF）をお送りします。メール（cumot-info@mot.titech.ac.jp）でのお申込みも可能です。詳細および最新情報は、webサイトにてご確認ください。https://www.academy.titech.ac.jp/cumot/stamp/index.html

実施体制

主　　催 ： 東京工業大学社会人アカデミー
事業主体 ： 環境・社会理工学院（技術経営専門職学位課程）　実施協力：技術経営士の会（任意団体）
修了認定 ： 修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

※本プログラムは予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。（2021月8月現在）